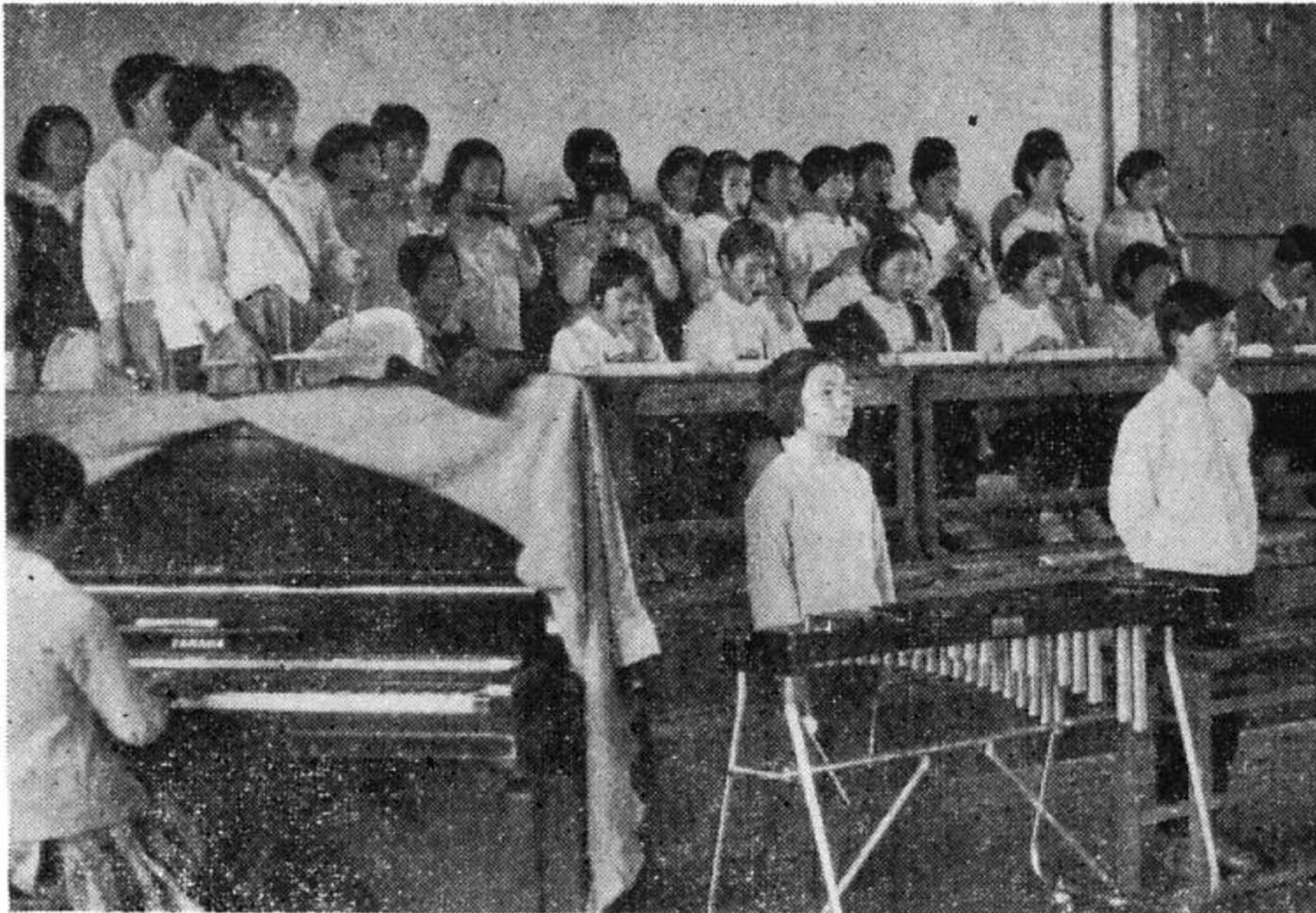


# 東由利村報

No. 123 1967・10・1

発行  
秋田県東由利村役場  
発行日  
毎月1日(1部5円)  
印刷  
KK本間印刷所  
昭和42年7月21日  
第3種郵便物認可

3 災害復旧費5,216  
牧山川外1カ所4,231  
上里石滝線外5カ所 895  
人権擁護委員決定 (留任)  
議会の同意を得、次の  
おり決定した  
小松三治郎 阿部寅静



老方小器楽合奏団

## 9月村議会定例会

災害復旧費 530万円

第4回議会定例会は9月7日招集され、7月28日の集中豪雨による災害復旧費などを主とする補正予算外2件を原案どおり可決した。

### 議長挨拶

阿部村長により村の骨格は出来たが、農協が二つになっており、道路整備・学校の統廃合・定時制高校公民館の建設等当面する問題が沢山あり村のほんとうの仕上げはこれからである。皆さんを始め村民全体が総力をあげて小松村長を支援せられたい。

### 村長挨拶

さしあたっては42年度予算の忠実な実施と、新たに発生する事態に対して善処し、村民の幸福をはかる決意ですからよろしくご協力をお願いします。

### 一般質問

#### ○長谷山喜市郎議員

1 商工行政について、業者

の要望を取り入れて他産業との格差のないように  
2 教育の向上について42年度の教育費を増額するか  
3 公供事業について、7月28日の豪雨被害の処置

### 村長答

① 商工行政をどう位置づけるかについて、現在商工会員は179名、その経済的貢献は軽視出来ない。しかしこれを具体的にどう位置づけるかについてはしばらく時をかしてもらいたい。

② 教育費については金額だけでなく、内容と質の向上とを併せ考える。

③ 公供災害に乗せられないところは村費でまかなう

#### ○長谷山千代蔵議員

定時制高校の建設は9月議会で決定しなければないと思うが

村長、具体化するには各方面からの検討を要する

#### ○長沢毅議員

老方と蔵地区には水道がないので調査するための経費を置いてもらいたい  
村長、水源と工事費と二つに分けて考えなければならないが、村としては先ず調査費を計上しなければならないと考える

#### ○佐藤要次議員

小中高を一貫した教育行政を研究する調査会を設けてはどうか  
村長、調査会も必要だが、教育研究所などに行って研究することもよいと思う

### 一般会計補正予算

才入才出予算の総額にそれぞれ7,985千円を追加し才入才出予算の総額を182,223千円とする

### ▷才出のおもなもの<

(単位千円)

- 1 選挙費 417
- 2 土木費 1,350橋補助、新沢線外5線の砂利など

## 納税の早期組合完納を、第1位完納19組合

10月は2位をきめる月

新村誕生以来の悲願であった納税完納を果して3年目、県内の最下位から浮び上って今年8月29日県の記念日に優良納税村として知事の表彰を受けるまでになりました。

村民の皆様の協力一致の努力のおかげと深く感謝しております。

10月は第2位となる組合のきまる大切な月です。これまで納期内完納を果して第1位に居る組合は昨年の11組合から19組合にふえましたが、その外の組合も10月中に完納して、全組合が第2位にはいるようがんばってください。

### ○組合完納報償制度

- 第1位 組合員全員が納期内完納
- 第2位 10月末までを完納残りを2月末まで完納
- 第3位 3月末まで各税完納

### ○10月末まで納期の来る村税

村県民税第3期分まで  
固定資産税 〃  
軽自動車税全額  
木引税賦課分全額  
国民健康保険税第2期まで

### ◎納期内完納組合(順不同)

岩館・蔵・黒沢・新町・上通横小路・湯出野・茂沢・祝沢倉・日照坂・高屋・宿・畑村奥ヶ沢・下小路・高戸屋・葎沢・向田 以上19組合

県税だより

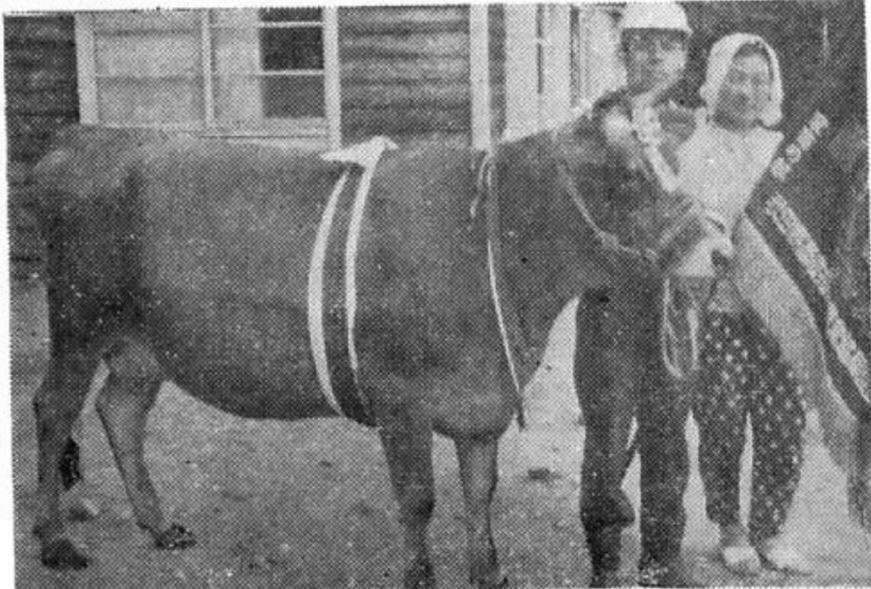
10月は自動車税の納期です。お早目に納税をさせてください。

### 県畜産共進会で 優勝牛2頭

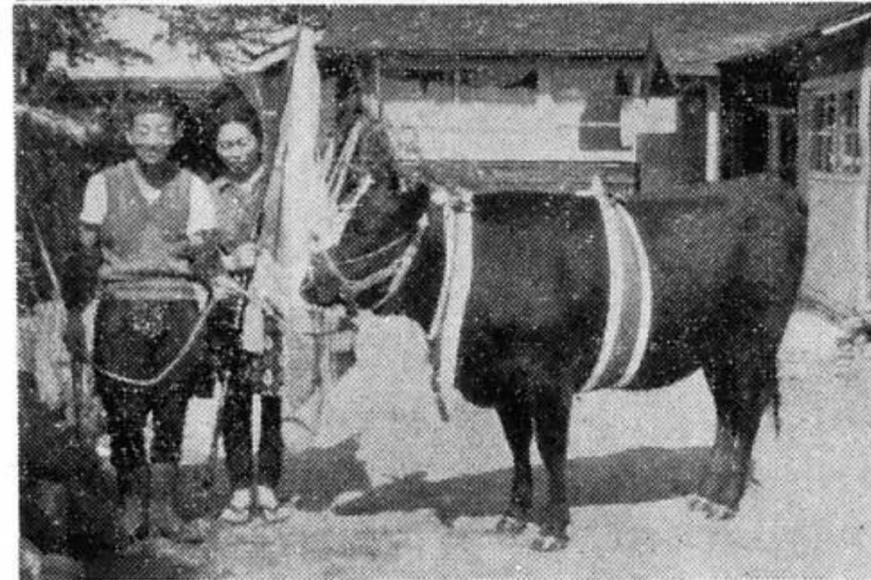
一村から一度に2頭の優勝牛を出したのは、これまで例のないことで、畜産東由利の名声を高めた。

- 優等賞、ジャージー
- |       |    |       |
|-------|----|-------|
| 同     | 和牛 | 藤原陽太郎 |
| 一等の2頭 |    | 小松繁太郎 |
| 二等の2頭 |    | 小野徳松  |
|       |    | 畑山喜一郎 |

9月9日～10日能代市向能代で開かれた第56回秋田県畜産共進会に、本村からは牛4頭を出陳したが、ジャージー和牛で県最高の優等賞に入り各々優勝旗を獲得し、外2頭と共に全頭入賞した。



優勝牛ジャージー



優勝和牛

### 9月家畜市場成績

9月の定期家畜市場は去る2日台山馬検場で行なわれた上場頭数は53頭と少なかったが1頭当り10万円近い高値で買い取られ、生産者の表情にも明るいものが感じられた。めすの最高もこれまでより1万1千円も高い15万5千円であった。こうした市場の高値は全国的な肉牛不足から尙当分の間続くものと思われるので、生産者は出来るだけ正規の市場取り引きが望ましい。

### 市場成績 (42.9)

種別	頭数	最高	最低	平均
めす	26	155,000	67,000	114,377
おす	27	111,000	66,400	81,827
計	53			98,102

総売上額 5,151,800円

### 11月市場は台山です

由利郡畜連では、本荘市石脇に建設中の本荘市場が完成する11月から、同所を会場として本荘市由利郡一円の大市場に切りかえる計画を進めて来たところでありましたが、このたび同郡畜連役員会で、これが実施について協議したところ、大市場切りかえについては尙しばらく検討の余地があるという結論に達し、取りあえず本年度は従来通りの場所で開催することになりました。従って当村の場合も11月家畜市場は11月12日、従来通り台山馬検場で開催されることとなります。

市場への上場申込、出生届等は出来るだけ早めに済ませるよう係では望んでおります。



### 村内作況調査

村では例年の通り9月8日遠藤徳太郎氏ら村内の経験豊富な篤農家、中村普及員、農協指導員を調査員に委嘱し、水稻作況調査を実施した。

調査結果は次の通りである一部にイモチ病等が見られたが全般に病虫害が少なく、成育良好で平年作を大きく上まわるものと見受けられた。こ

れについては(1) 気象条件にめぐまれたこと。(2) 耐病性品種の作付割合増加したこと(3) 肥培管理、病虫害防除等技術が向上したこと、などによるものと考えられた。

構造改善実施の石田坂地区においては本田移植の遅れがそのまま生育遅延となって、平年比70%程度と推定された

### 工場誘致について 議会議員協議会

9月12日、工場誘致についての議会議員協議会が行われた。本村に工場建設を希望しているのは、埼玉県羽生市に本社のある「太平工業株式会社」で、被服・作業衣・作業ズボン・ジャンパー・事務服・その他一般制服などを製造販売する会社の工場、来年4月から仕事を始め1年目には従業員30名、2年目には50名にする予定です。

従業員が仕事に熟練した後結婚等で退職した場合は自宅で内職の出来るような仕組になっています。

村に工場の出来ることは結構なことであるけれど、村の労働力・既存の工場や事業所への影響など多方面から検討した上に「土地建物については村として考える、運転資金については考えない」ということで、工場を誘致することに決定した。

### 近く、チップ工場が出来る

東北林業有限会社(代表取締役上野伊三郎)では今年の7月中ごろ、村内に工場を建

設したいと申し込んで来たが役場のあっせんで蔵字根城に1,000坪の敷地を決定、9月10日には整地をおわり、目下基礎工事中であるが、急速に建物や機械を整備して、10月中旬に操業を始めるよう工事を急いでいる。

チップの原料材は大量を必要とするので、村内は勿論隣接町村や雄勝方面からも集める計画であり、製品は新屋のパルプ工場に納めることになっている。

直接工場で働らく工員は10人位のようなのですが、木材の切り出し運搬などに要する人手は相当なもので村経済への貢献は少なくないと考えられる

### 豊作を無駄にしない運動

今年は近年にない大豊作で農家の所得も大巾に増加することが予想されるので、県では1積極的な貯蓄 2短期負債の解消 3生産投資の合理化 4消費の合理化の4つを重点目標に豊作を無駄にしない運動を展開することになりました。農家経営の合理化をより一層充実させるため全農家が参加するよう望んでおります。

秋の蛙 山田礼智

なにごとに目ざめたりしか秋の夜の闇にこもりて蛙は鳴きぬ
からりころり二匹の蛙鳴きにけり秋の夜更けに声交わしつ
むつみつささやくごとく鳴き居しはめをと蛙か鳴きやみに

青年健全育成会議 7地区で開催

9月5日の民生委員会で、佐藤総務の提案により、民生児童委員も本格的に、青少年健全育成の実践に乗り出すことになり、稲刈り前に、民生児童委員・健全育成世話人・学校職員の三者協議会を開くことになり、青少協事務担当者も出席して下記のとおり実施した。

○ 老方 9月7日
参加者 学校、校長・下中中津川児童委員、小松運治郎世話人、藤原陽太郎・赤川菊子・佐藤八五郎・小野麗子佐藤イデ・志村金之助・菊地常作

話し合い
1 先づ子ども会を整備して世話人をきめる
2 子ども会のリーダー養成を兼ね、親子の話し合い、家庭バレーの会をやる(10月末か11月始め)

○ 袖山 9月8日
参加者、6名
1 10月末か11月始めに親子会を開く。婦人学級や親達へ呼びかける。親子の話の合い、親子バレー・茶話会をやる。経費は青年協より支出するように

○ 法内 9月9日
参加者、12名
1 親子の話し合いの場をつくる。学校単位にやる前に、部落をかためなければならぬから、部落毎に親子のナベック遠足をやる。

○ 住吉 9月13日
参加者、12名
1 声をかけ合う運動を始めて1カ月後に調査したところ老年者のおるうちではよく行われ、若い人だけの家では割合行われていなかった
2 買喰いの問題、買喰いは悪いくせで、現在将来共非行の原因となるからきびしく止めなければならぬ(校長
3 PTAの機会に、部落別に親子会を開く。その折には地域の青少協委員にも出てもらう。

○ 蔵 9月13日
参加者、6名
1 健全育成の対象は中学生まででなく高校生も含めよ
2 買喰いはクラブ活動などで空腹にならから等いろいろ理由があるようだが、空腹や水呑みをこらえぬくことも重要なたん錬だから買喰いは許容すべきでない。
3 健全育成会を11月始めに開く。親子の話し合い。あらゆる球枝の大会をやる。

○ 宿 9月13日
1 道路に注意標識をたてる。交通安全指導をやる。
2 来年の水泳場の施設を頼む
3 長欠生徒をなくす。
4 声をかけ合う運動を進める
5 健全育成を進めるために、映写会をやって部落をまわりよく理解させる。

○ 玉米 9月14日
参加者 11名
1 子ども会の組織名称が不統一である。
2 世話人とこれまである機関とはよく協調しなければならぬ。
3 青年会の後援と育成について、村が物心両面にわたりもっと積極的になれ。
4 11月上旬に、家庭バレーを中心とする親子の話し合い

の会をやる。バレーボールを交付してもらいたい。
珠算検定
合格おめでとう
珠算検定二級合格者

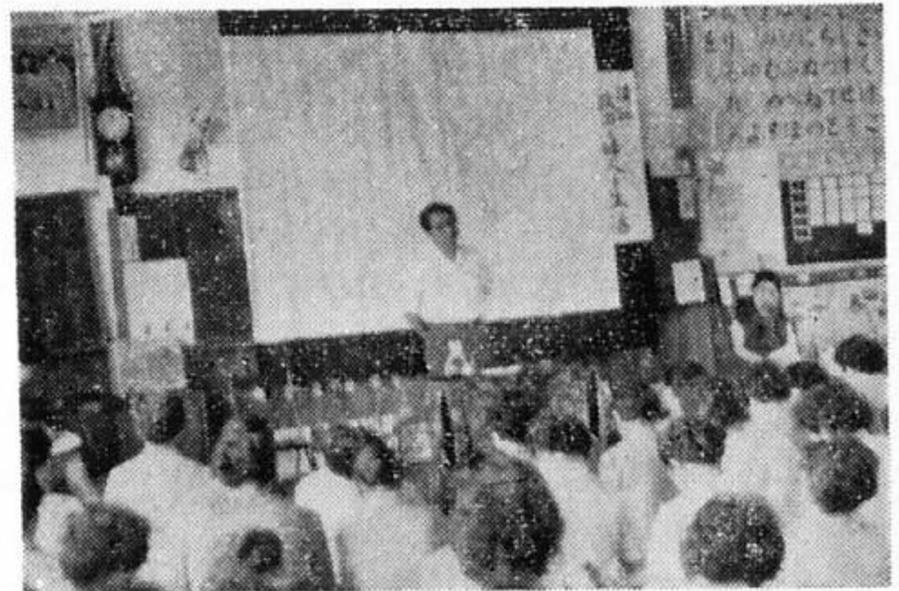
伊藤斗代、東由利農協
藤原達郎、老方小学校
次回検定試験期日
全珠連、11月26日
商工会、11月12日

投票率 65.95%

参議院議員補欠選挙

参議院議員松野孝一氏の死去に伴う参議院議員秋田県選出議員補欠選挙は9月15日行われた。
当村の投票率は65.95%で県平均の58.94%よりは少しよいが郡内10カ町村中の第8

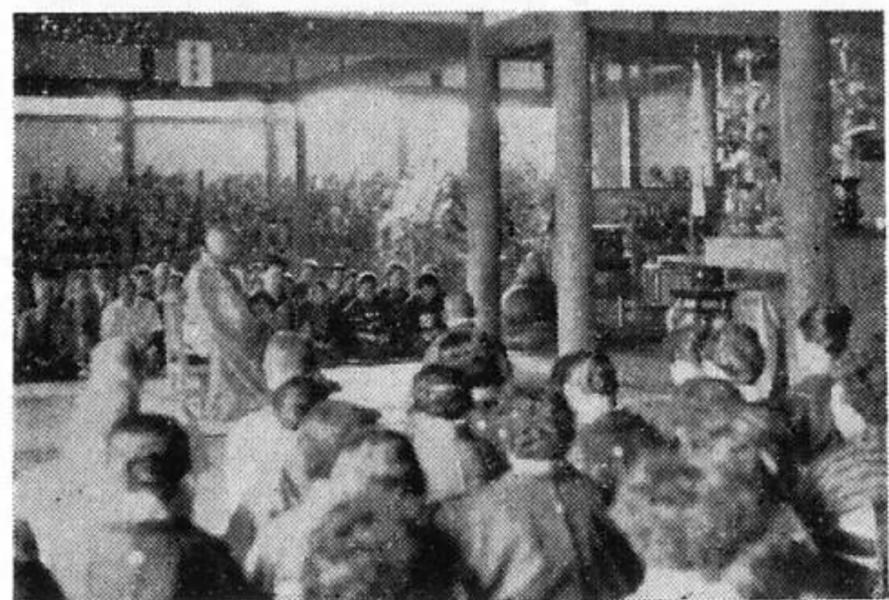
位であった。
村の開票結果は
谷藤征得、1,630票
沢田正治、978票
佐藤広一、281票
小川俊三、190票



9月3日ブロッコ婦人研修会
梅津本荘公民館長の講話



9月10日下中20周年記念歓迎門



9月8日の慰霊祭

## 阿部・小野氏退任

総務課長阿部重三郎氏と役場職員小野貞賢の両氏は停年(56才)に達したので9月30日をもって退任することになりました。

阿部重三郎氏は、大正15年高等科卒業と同時に役場職員に任用せられ、以来40年村行政に専念して来られた方である。その間昭和16年1月より8月まで満洲開拓団由利郷建設のため牡丹江省に入植し、佐々木三郎団長を助けて経営のために苦心せられたことがある。

小野貞賢氏は昭和36年4月役場職員に正式採用され一貫して住民課に勤務社会福祉事務を担当し、精励をもってこえてきている方である。

## 忙しくなった子どもを事故から守ろう

近年にない豊作にめぐまれたが、それだけに農家の忙しさはかくべつです。忙しさにまぎれて子どものかんごがおろそかになり、事故をおこしては大へんです。次のようなことにこまかく注意して、事故のないようにしましょう。

### 記

#### 1、水死事故の防止

昨年9月と10月の少年の水死者は7名、そのうち幼児は4名となっています。家庭で注意するだけでなく、池や流れなど近くにあぶないところがないかをよく調べて手を加えておきましょう。

#### 2、交通事故の防止

昨年は9月中に幼児だけで死者1傷者37、10月には死者2傷者36を出しており、今年の9月は20日までに死者1傷者30を出しており、昨年よりも事故がふえるもようです。

幼児の道中での遊び、車の直前飛び出し、中学生の自転車・高校生のバイクなどについては学校・家庭・地域ぐるみの注意と指導が必要です。

#### 3、子どもの火遊び

今年の8月末までの子ども

の火遊びによる火災は昨年の54件に対し、42件で少しへってはいるものの、取入時の火災は、人手不足や水不足などで消防力の減退から大火災になりやすいこと、収穫物の焼失などで被害が大きいので、マッチの置場、オモチャ花火の始末・人手不足からの子どもの炊事手伝いなどについては、各家庭ともこまかい注意をはらって下さい。

(青少年対策室)

## 青少年健全育成大会

11月6日

秋田県青少年健全育成会議では次の要項によって、青少年健全育成大会を開きます。

#### 1、大会主題

家庭や地域・職場などで、青少年健全育成の実践をどう行うべきか。

#### 2、主催

秋田県青少年健全育成会議

#### 3、期日

11月9日(月) 10.00~15.00

#### 4、主会場

秋田県民会館、部会々場3

#### 5、参加者

青少年育成関係者2,000名  
本村18名

#### 6、内容

(1)講演「青少年健全育成におとなの果たす役割」

青少年育成国民会議会長  
茅 誠司氏

(2)研究協議

第一部会、県民運動をどう進めたらよいか

第二部会、地域組織活動をどう進めたらよいか

第三部会、非行防止、事故防止活動をどう進めたらよいか

#### 7、大会参加計画

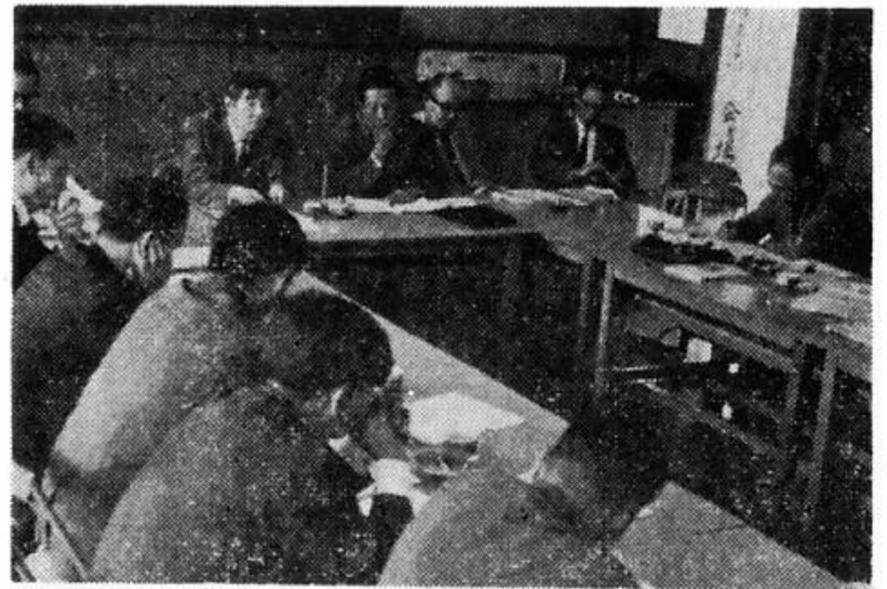
(1)研究協議(部会)

市町村当り各部会1名

(2)大会参加者

町村当り15名(世話人を中心に

福祉事務所(本社)単位にバスの特別運行を計画する。



9月9日~10日住吉小での男鹿・本荘市・南秋・川辺・由利の社会教育主事研修会

## 商工会だより

### ○技能検定のお知らせ

次の職種の技能検定(実技試験)が行われます。受験希望者は早目に商工会にご連絡して下さい。

鋳物工・配管工・時計修理工  
洋裁工・畳工・建築大工・家具工・建具工・木型工・機械製図工・電工・表具工

### ○建築される方へ

建物を建築される場合は前もって土木事務所の建築確認を受けなければ不法建築ということになります。申請のことについては、大工さん方にご相談して下さい。

### ○二級建築士合格者

(今年度)

小川 治 (老方)  
高橋一成 (舟木)

## 「行政相談週間」の実施

行政相談制度について年々高く評価されて来ておりますことは一重に皆様のご協力の賜と深く感謝いたします。

つきましては、この度行政管理庁では行政に対する苦情の相談制度について広く国民一般の理解と認識を更に深めるため、来る10月16日より22日までの一週間を「行政相談週間」と決めましたので、国の行政機関に対し不平不満がありましたら行政相談員に遠慮なく申し出て下さい。なお、申し出られたことについては、無料・秘密・迅速を

守りますので気軽にご相談されるよう申しそえます。

行政相談員

蔵字新田、木嶋節造

## 民泊先への礼状

畠山恒俊

去る7月27~29日までの3日間、県立児童館を会場に開かれた秋田県子ども大会に出席した畠山恒俊君から、民泊先の楢山館の越鈴木勝雄さんに宛てた礼状で、「児童館だより」に掲載されたものです。(略)お世話になった民泊のことですが、やはり大会中の一番の思い出になりました。また明田西地区の子ども会との交流もよい思い出の一つになりました。

ところで、私達には育成会のような親達の活発な動きが見られません。

それで、子ども会の運営というものは、ほとんどリーダーにまかせられます。クラブ活動もはげしいし、進学をひかえ、どちらも両立させるというのは困難です。

それに子ども会というものに、無関心な人が多いので苦勞しています。私は、いままで、半ばあきらめていましたが、明田西地区の活動を見て私もやればある程度やれるんじゃないかと自信がついてきました。

(略)私達4人と話し合いをしてくれた子ども会のみなさんにも深く感謝しているとおつたえ下さい。